

平成 29 年度 学校評価報告書 (目標設定、実施結果)

| 視点 | 4 年間の目標 (平成 28 年度策定) | 1 年間の目標 | 取組の内容 | | 校内評価 | | 学校関係者評価 (月 日実施) | 総合評価 (月 日実施) | |
|--------------------------|--|--|--|---|------|-------------|--------------------|--------------|-------|
| | | | 具体的な方策 | 評価の観点 | 達成状況 | 課題・改善方策 (案) | | 成果と課題 | 改善方策等 |
| 1 教育課程 学習指導 | <ul style="list-style-type: none"> 生徒の幅広い進路希望やニーズに対応した教育課程を編成する。 基礎学力の定着と発展的学習による学力の向上に合わせた学習指導を充実させる。 生徒の主体的・協働的な学習への取組を充実させる。 学校行事や生徒会活動等の活性化と生徒の主体的な取組の充実を図る。 | <ol style="list-style-type: none"> 進路希望やニーズに対応した教育課程の編成の検討と生徒の科目選択の支援。 研究授業や授業改善に向けた職員研修の充実。 授業内容の工夫と生徒の興味・関心・意欲を高め充実感を引き出すための授業内容の改善。 生徒が自主性を発揮して行事を運営していくための支援。 | <ol style="list-style-type: none"> 生徒の科目選択状況の検証。必修選択科目・学校設定科目の設置及び配置が生徒の進路希望やニーズに合致しているか検討する。 生徒による授業評価を年に 2 回以上実施する。指導内容の工夫、少人数学級編成による授業展開や組織的計画的な授業改善により、基礎学力の定着と発展的学習への積極的な取組への支援を図る。 課題を解決するために必要な諸能力を育成できるように授業内容を工夫する。 体育祭や文化祭等の学校行事や生徒会活動において、生徒の自主的な取組ができる支援体制を工夫する。 | <ol style="list-style-type: none"> 生徒が適切な科目を選択出来ているか。必修選択科目及び学校設定科目の設置や配置は適切であるか。 生徒による授業評価を年に 2 回以上実施したか。少人数学級編成を実施したか。 組織的で計画的な授業改善がなされたか。 基礎学力が定着しているか。 発展的学習への取組が十分なされたか。 課題を解決するために必要な諸能力が育成されたか。 学校行事や生徒会活動への生徒の参加が積極的、また、自主的な活動となっているか。 | | | | | |
| 2 (幼児・児童・) 生徒指導・支援 | <ul style="list-style-type: none"> 部活動の活性化と生徒の主体的な取組の充実を図る。 基本的生活習慣の確立と授業規範や生活規範の向上を目指す。 個々の生徒に応じた相談体制の充実と、安心して学び充実感の得られる学校づくりを進める。 | <ol style="list-style-type: none"> 生徒が部活動に主体的に取組める支援体制の整備と充実。 日常の生徒指導を通じての生徒との信頼関係の構築、生徒の規範意識と学習意欲の向上への取組、生徒の主体的学びと安心して学べる環境づくり。 スクールカウンセラーや教育相談コーディネーターを活用した組織的な教育相談体制の充実。 | <ol style="list-style-type: none"> 生徒が部活動に主体的に取り組むことができる支援体制を整備・充実させる。 日常の生徒指導においては生徒を丁寧に観察し、言葉を交わしながら信頼関係を構築する。また適宜実施する遅刻指導や年間を通して行う校内巡回を通して、生徒の規範意識や学習意欲の向上につなげ、合わせて安心して学べる環境づくりを行う。 スクールカウンセラーや教育相談コーディネーターと担任、学年との連絡を密にし、学校全体で情報を共有することで、組織的な教育相談の取り組みを充実させる。 | <ol style="list-style-type: none"> 活動への加入状況に向上がみられたか。また、主体的な活動となって充実しているか。 生徒を丁寧に観察しながら信頼関係を気づくことができたか。遅刻指導や校内巡回を通して規範意識や学習意欲の向上につなげることができたか。これらのことを通じて、安心して学べる環境づくりができたか。 情報交換やケース会議、職員会議等を通じて情報を共有し、組織的な教育相談体制を充実させることができたか。 | | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|---|--------------|---|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 3 | 進路指導・支援 | <ul style="list-style-type: none"> 生徒一人ひとりのキャリア諸能力の段階的な育成を目指し、生徒の主体的な進路選択と進路実現の一層の支援を図り、生徒が自らの将来を切り拓く力を育む。 | <ol style="list-style-type: none"> 「キャリア教育実践プログラム」の各学年進路指導計画を改善・実践と変化する生徒の進路志望実現に向けてのさらなる支援。 生徒が主体的に進路選択及び進路実現していくためのさらなる環境整備。 | <ol style="list-style-type: none"> 各学年及び3年間の「キャリア教育実践プログラム」の検証と改善を図る。 学力テストの内容・時期・活用に関して、検証と改善を進める。 「進路のしおり」の内容や発行時期の改善を図り、活用を進める。 生徒が主体的に活用できる進路室及び生徒自習室の整備と改善に努める。 学年ごとに生徒の需要に適したキャリアガイダンス（進路指導ガイダンス）に改善し、内容充実を図る。 | <ol style="list-style-type: none"> 各学年「キャリア教育実践プログラム」は適切か。 学力テストの内容・時期は適切か。進路指導に活用できているか。 「進路のしおり」の内容や発行時期は適切か。 進路室及び生徒自習室は生徒の要望を満たして整備されているか。 学年ごとのキャリアガイダンス（進路指導ガイダンス）の内容等は適切か。 | | | | | |
| 4 | 地域等との協働 | <ul style="list-style-type: none"> 保護者や地域との協働を推進し、地域に信頼される学校づくりを進める。 | <ol style="list-style-type: none"> 異校種間や地域との連携・協働における生徒の主体的な取組の充実。 各種学校行事を通じたPTAとの連携・協働。 地域での実習や部活動の地域交流の充実。 | <ol style="list-style-type: none"> みどり養護学校分教室や地域の小中学校、また、地域との協働による教育活動において、生徒の主体的な取組の充実を図る。 各種学校行事を通じて、PTAとの連携・協働に努める。 地域での実習や部活動の地域交流の充実を図る。 | <ol style="list-style-type: none"> みどり養護学校分教室との協働が深まり、生徒は自主的に活動できたか。地域との協働に積極的に関わることができたか。 PTAとの協働を通じ、本校の教育活動を充実させることができたか。 地域の協力を得た保育の授業の実習や部活動交流等を充実させることができたか。 | | | | | |
| 5 | 学校管理 学校運営 | <ul style="list-style-type: none"> 教職員の実践的指導力を高め、安全対策を強化し、信頼される学校づくりを進める。 | <ol style="list-style-type: none"> 信頼される学校づくりのための課題の確認。 教職員研修の計画。 防災対策、防災教育の見直し。 | <ol style="list-style-type: none"> 職員研修の計画を見直す。 安全点検マニュアル・防犯マニュアルを確認し、日常の学校施設設備等の安全点検に努める。 防災教育関連の研修を進め、防災教育の年間計画を見直してDIGを含め3回の防災教室を実施する。 地震防災活動マニュアルの改善と防災資機材の充実に努める。 地域と連携した防災体制の整備を推進する。 私費会計に関してハンドブックに基づく適正な処理に努める。 | <ol style="list-style-type: none"> 効果的な職員研修が計画されたか。 学校施設設備の安全点検は日常的になされたか。 防災教育関連の研修がなされたか。防災教育の計画は効果的なものとなったか。 地震防災活動マニュアルの改善はできたか。防災資機材は充実したか。 地域と連携した防災体制の整備は進められたか。 会計処理は適正になされたか。 | | | | | |